

健康起因事故の状況〈中部運輸局管内〉

バス：H26年の急激な増加は運転者に軽度な体調異変でも報告させ、運転手を交替させるようになった乗合事業者があるため報告件数は増えているが、H28年はH27年に比べ5件増加した。

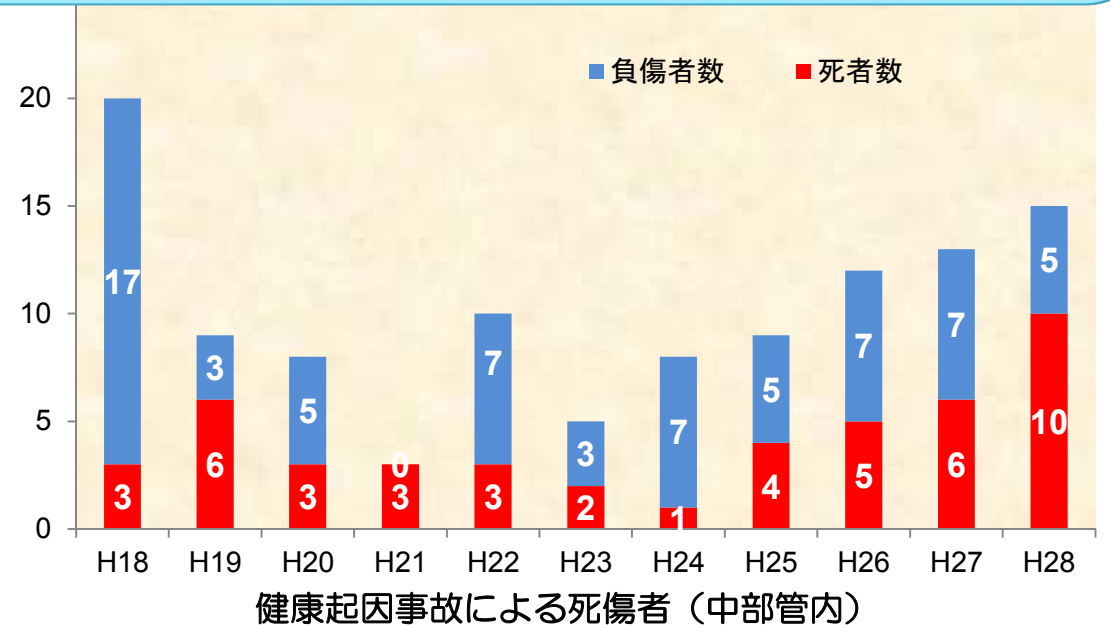
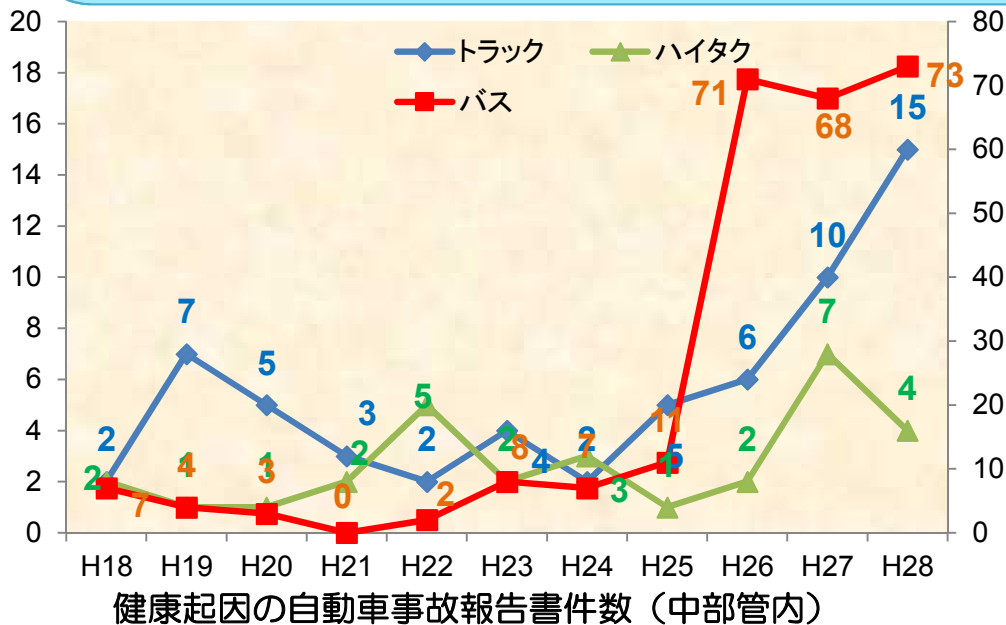
トラック：H28年の事故報告件数はH27年に比べ5件増加した。

ハイ・タク：H28年の事故報告件数はH27年に比べ3件減少となった。

自動車事故報告規則では運転者の体調急変等に伴うインシデントについても報告を求めているので、**交通事故を未然に防止するために運転者を交替した場合**の報告もあるため増加している。

事例

運転手が運行管理者の点呼を受け乗務に就いた。その後バスターミナルで停車中の運転手から「身体がだるくて熱っぽい」と運行管理者へ体調不良の申し出あり、連絡を受けた運行管理者が運行の継続は不可能と判断。その場で待機するように指示し、交替運転手を送り、次発から運転手を交替させた。



健康起因事故の状況〈中部運輸局管内〉

平成28年健康起因に伴う事故報告件数（暫定） 92件

バス（73件）

タクシー（4件）

トラック（15件）

健康起因に伴う事故発生件数（物損事故含む）：11件

1件

- ・インフルエンザ

3件

- ・心筋梗塞（死亡）
- ・その他

8件

- ・心筋梗塞（死亡）
- ・心不全（死亡）
- ・くも膜下出血（死亡）
- ・脳梗塞（死亡）
- ・その他

健康起因に伴う未事故件数（乗務交代等）：81件

73件

- ・感染性胃腸炎
- ・良性発作性頭位めまい
- ・その他

1件

- ・脳出血

7件

- ・心筋梗塞（死亡）
- ・脳出血
- ・熱中症
- ・その他

健康管理支援事業

平成28年4月～ ○健康管理支援事業開始

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

中部運輸局自動車技術安全部

平成28年3月29日 定例記者懇談会発表



連絡先
国土交通省 中部運輸局 自動車技術安全部
保安・環境課
TEL 052-952-8044

プロドライバーの健康管理支援事業を開始

～魅力ある運送事業の構築に向けて～

中部運輸局は、全国に先駆けてバス・トラック・タクシーの関係各協会、全国健康保険協会（協会けんぽ）各支部、総合健康保険組合及び健康管理支援企業等と連携して、運送事業者における健康管理を支援する「健康管理支援事業」を本年4月から本格的に開始します。

中部運輸局及び関係各協会は、運送事業者における健康起因事故の削減に向け、「第8回中部ブロック事業用自動車安全対策会議」（平成27年11月開催）において、今後の主な取り組みとして、「健康管理支援事業」を実施することとしました。

具体的には、研修やセミナー等のあらゆる機会を通じて、運送事業者における健康管理の取組状況を把握し、各運送事業者の状況に応じて、第1ステップとして「健康管理マニュアルの活用」、第2ステップとして「特定健診、特定保健指導の活用」、第3ステップとして「データヘルスの取り組み」と徐々にステップアップできるよう、関係者と連携して支援することとしました。

また、貸切バス事業者における健康管理の取組状況について、本年2月、軽井沢スキーバス事故を踏まえた「緊急安全対策会議」等に併せて、中部管内5県282者の事業者に対してアンケート調査を実施したところ、健康管理マニュアルを活用できていない事業者が多数存在するとともに、約40%の事業者が協会けんぽや健康管理支援企業に健康管理方法に関して相談を希望していることが判明しました。

この調査結果を踏まえ、中部運輸局としては、関係者と連携しつつ、健康管理マニュアルの活用方法について再度周知徹底するとともに、プロドライバーの健康管理をサポートしている企業を随時募集いたします。

※募集に関するお問い合わせは、上記連絡先へお問い合わせ下さい。

平成29年5月～ ○関係協会との協定締結〔県単位〕 （順次） （連携強化）

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

中部運輸局三重運輸支局

平成29年 5月16日発表



はこがちゃん

連絡先
国土交通省中部運輸局
三重運輸支局
整備担当
TEL 059-234-8411
FAX 059-238-1281

全国初！！「プロドライバーの健康づくりの推進に向けた包括的事業連携に関する協定」を締結します

中部運輸局では、運送事業者における健康起因事故の削減に向け、関係各団体（トラック・バス・タクシー各協会、全国健康保険協会（協会けんぽ））とともに「健康管理支援事業」を実施しているところです。

この事業の一環として、中部運輸局三重運輸支局は、関係各団体と相互に連携して健康管理対策の推進を図ることを目的とした「プロドライバーの健康づくりの推進に向けた包括的事業連携に関する協定」の締結式を下記のとおり執り行いますので、お知らせします。

記

1. 日時 平成29年5月23日（火） 9：30～10：00
2. 場所 三重運輸支局（津市雲出長常町字六ノ割1190-9）
二階大会議室
3. 出席者 中部運輸局三重運輸支局
一般社団法人三重県トラック協会
公益社団法人三重県バス協会
一般社団法人三重県タクシー協会
全国健康保険協会三重支部

*当日の取材については、
前日までに上記連絡先へご連絡をお願いします。

健康管理支援の進め方

1. 健康管理の取組状況の把握

○各種セミナーや講習、事故報告、監査及び巡回指導等において、チラシによる説明やアンケートの実施

2. 健康管理の目標設定

○アンケート結果等をもとに、目標を設定

平成30年までの目標設定

①ステップ1（健康管理マニュアルの活用）

- ・義務項目：100%実施
- ・推奨項目：50%実施

②ステップ2（特定健診・特定保健指導の活用）

- ・特定保健指導の受診率：業種別でトップ

③ステップ3（データヘルスへの取組）

- ・取組事業者数：平成28年に比べ20%増

3. 健康管理の支援

○目標に応じた支援方法を策定

①ステップ1（健康管理マニュアルの活用）

- ・義務項目：健康管理マニュアルの活用方法の周知、「健康宣言」の推奨、宣言事業者の公表
- ・推奨項目：取組事例の紹介、補助制度の周知

②ステップ2（特定健診・特定保健指導の活用）

- ・特定保健指導の受診依頼

③ステップ3（データヘルスへの取組）

- ・取組事例の紹介

健康管理支援事業（取り組み状況）

平成29年12月1日現在



昨年度の主な取組

1. 健康管理の目標設定
2. 各種セミナーや講習、事故報告、監査及び巡回指導等において、チラシを活用して健康管理の取組を推進

今年度の主な取組

- 上記2. に加え、以下の取組を実施。
- A. 各関係協会との連携強化のため協定締結
 - B. 特定健康保健指導、データヘルスや健康経営の推奨に係る事業者訪問
 - C. 健康管理に優れた取組事例（グッドプラクティス）の収集・横展開

			愛知	静岡	岐阜	三重	福井
A	協定締結	締結協会	トラック バス タクシー けんぽ	トラック バス トラック けんぽ	トラック バス タクシー けんぽ	トラック バス タクシー けんぽ	トラック バス タクシー けんぽ
		予定	11月24日締結	7月31日締結	2月以降 (トラック1月 理事会承認要)	5月23日締結	10月5日締結
B	特定保健 指導事業 者訪問	実施数		トラック 1 バス 1 タクシー 1	トラック 2 バス 1 タクシー 1	トラック 1 タクシー 1	バス 3 タクシー 1
C	グッドプラクティス (調査日)		WILLERE XPRESS東海(株) (H29.6.9)	(株)アトランス (H29.5.12)	濃飛乗合自動車(株) (H29.3.22)	中日臨海バス(株) (H28.8.18) 久居運送(株) (H29.5.24)	4

事業形態・規模

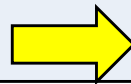
- 一般貨物自動車運送事業
- 静岡県内に2営業所
- 全従業員:48名(内ドライバー43名)

経営トップの考え

経営危機が訪れ、小さな会社であり従業員の身を削るような頑張りで危機を何とか乗り越えた。

これを機に考え方の変化

健康診断は義務であるから受けさせていた



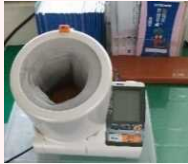
会社の商品力としての健康

従業員への感謝の気持ち = 健康でこの会社で頑張ってもらいたい

取り組み

ふじのくに健康宣言

血圧計の設置



分煙を実施



データヘルスの活用

- 同業態平均との比較による事業所の健康度を「見える化」して健康リスク保有率を明確化



- 健康推進リーダーを選任・年2回無事故無違反ドライバー表彰
- 健康保健士が年に2回カウンセリング
- 健康診断後の再検査、要治療対象者へのフォロー
(会社からの書面通知、総務担当者/健康推進リーダーによる対象者への個別の働きかけ等を実施)

健康経営優良法人認定

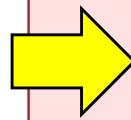
- 会社のブランド力の向上

- 仕事の質が向上

顧客への信頼向上

社内の変化

コミュニケーションの活性化
(健康を話題とする/互いの健康を気遣う)



- 社内風土の向上 (口コミによる優良人材の確保)
- 新たな取り組み (SAS検診・認知機能チェック)

健康を中心とする新たな経営基盤の構築